

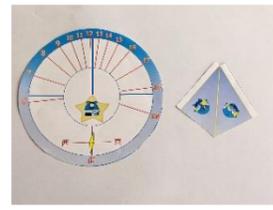
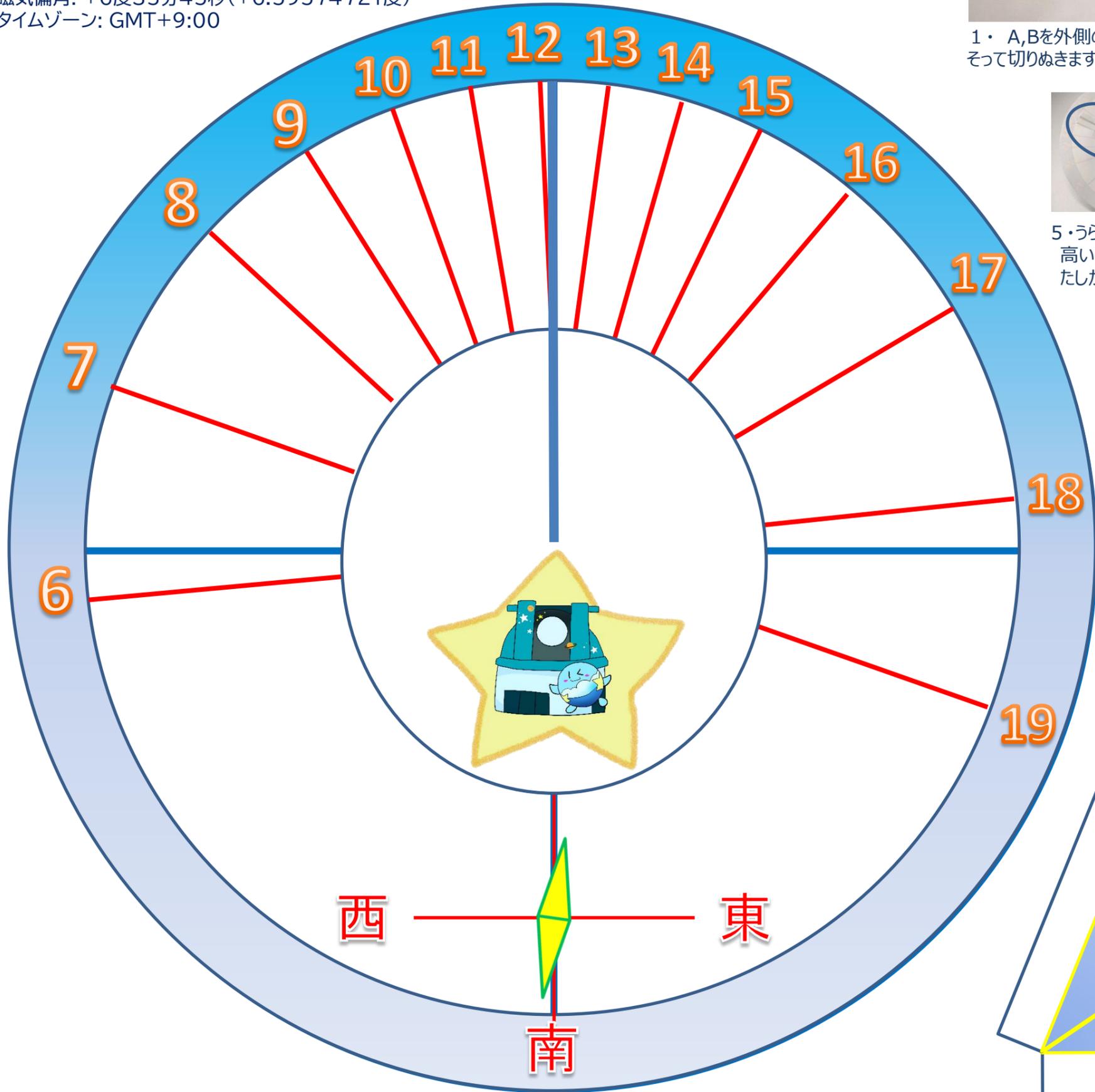
大分版 日時計の工作

太陽は時計だった!!
昔の人たちは、どうやって時間を調べていたのだろうか?

◆作りかた

地域: 大分県大分市
緯度: 北緯33度14分00秒(+33.23333333度)
経度: 東経131度37分00秒(+131.61666667度)
磁気偏角: +6度35分45秒(+6.59574721度)
タイムゾーン: GMT+9:00

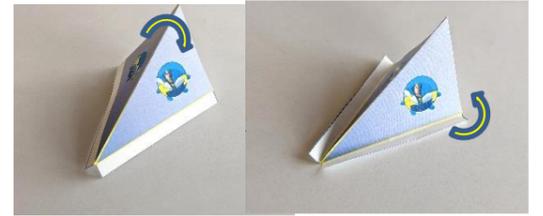
A日時計盤



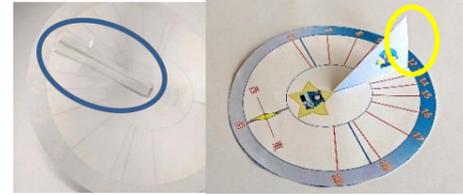
1・A,Bを外側の線にそって切りぬきます。



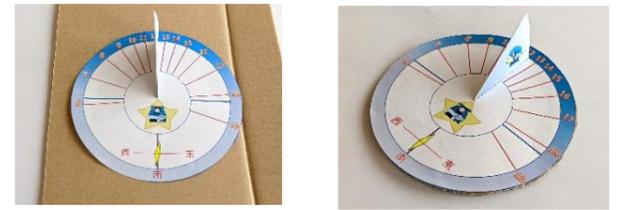
2・赤い線でかこんだ部分をカッターで切りぬきます。



3・Bのノーモンを真ん中から山おりして、のりしろは谷おりにします。

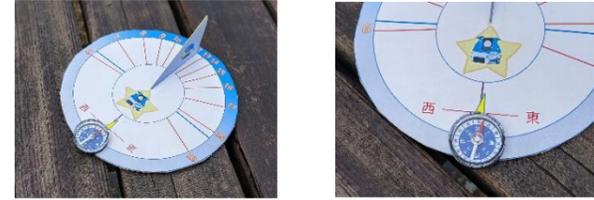


5・うらからノーモンをさしこみます。この時高いほうが数字がわにくるようにします。たしかめたあとにセロテープ等ではりつけます。



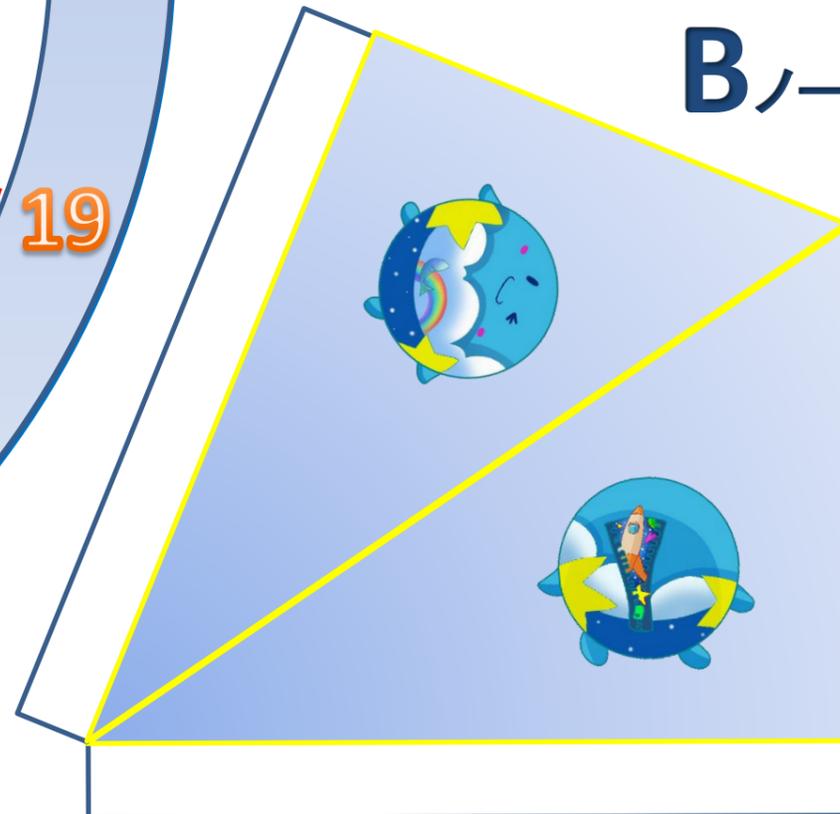
6・ダンボール紙などのかたい紙をうらからはりつけると、じょうぶになり使いやすいです。

◆使いかた



方位じしゃくを用意します。日時計盤の方位に合わせ方位じしゃくを置いて北に向けます。その時じしゃくの針を黄色い矢印に合わせるようにします。カゲの落ちているところが現在の時間です。

Bノーモン



大分市生涯学習施設
関崎海星館